

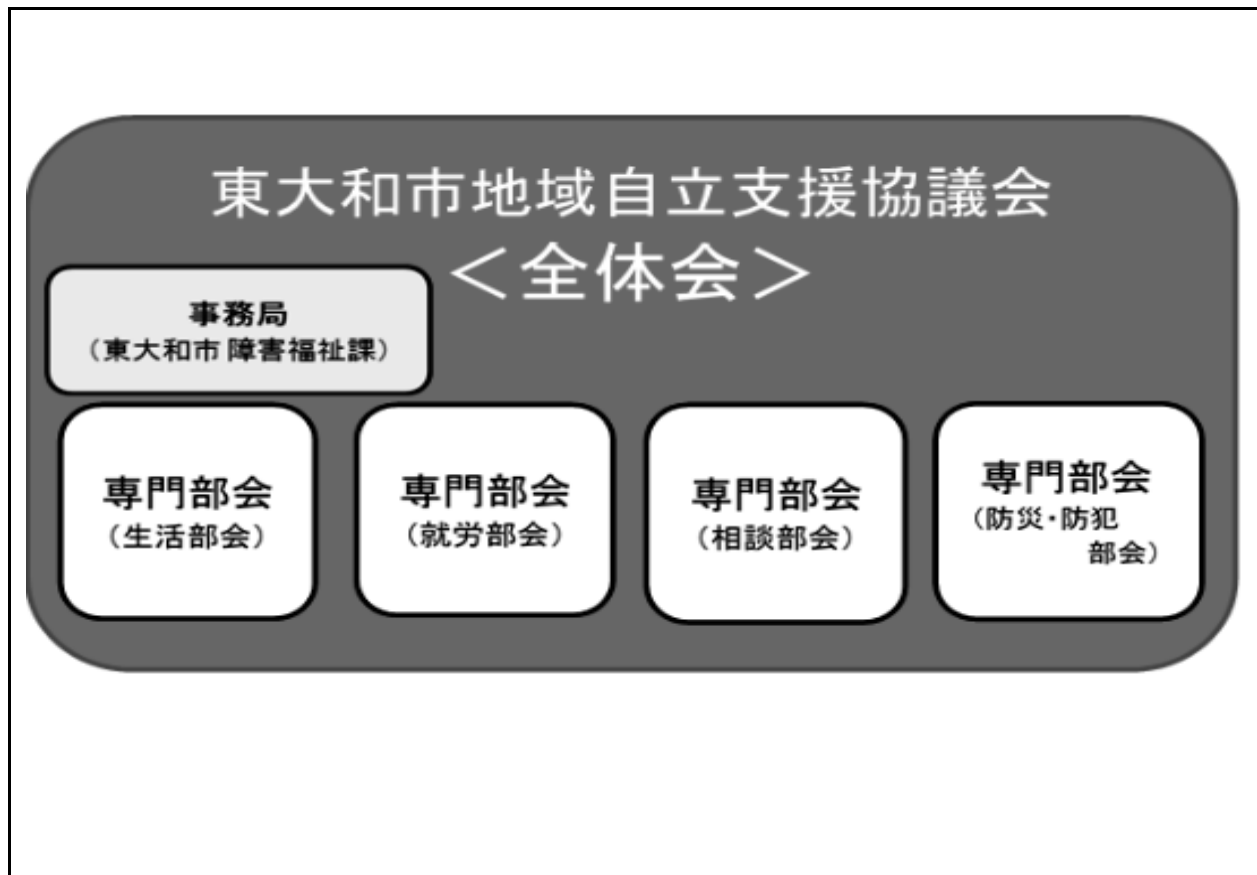
## 東大和市

### 1 地域自立支援協議会の基本事項

(1) 名称 東大和市地域自立支援協議会

(2) ホームページURL <https://www.city.higashiyamato.lg.jp/kenkofukushi/shogaisha/1003038/index.html>

(3) 組織図



### 2 地域自立支援協議会の委員

(1) 委員名簿

No.	役職	氏名	所属	種別	備考	経歴年数
1	副会長	小川 則之	東大和障害福祉ネットワーク	障害当事者		1年
2		関田 留美子	特定非営利活動法人グループゆう	障害福祉サービス等事業者		3年
3		工藤 滯	東大和精神保健福祉関係者連絡会	家族・関係団体		2年
4	会長	田中 海之	東大和市相談支援事業者連絡会	相談支援事業者		8年
5		山崎 聖弥	東大和市グループホーム事業所連絡会	障害福祉サービス等事業者		3年
6		中山 久栄	東大和市共同作業所連絡会	障害福祉サービス等事業者		3年
7		今野 初恵	つつじネットワーク	障害福祉サービス等事業者		3年
8		橋本 智保子	東大和市商工会	企業		長期
9		笠井 忠次	立川公共職業安定所	雇用関係機関		1年
10		鈴木 晶子	多摩立川保健所	保健所		1年
11		竹中 彩子	東大和療育センター	医療関係者		1年
12		星 菜々絵	村山特別支援学校	教育関係機関		3年
13		平沼 望	羽村特別支援学校	教育関係機関		1年
14		吉沢 寿子	東大和市社会福祉協議会	社会福祉協議会		1年
15		井上 千秋	東大和市総合福祉センター	障害福祉サービス等事業者		7年
16		齋藤 知穂	東大和市精神障害者地域生活支援センター	障害福祉サービス等事業者		5年
17		飯島 裕子	民生委員・児童委員協議会	民生委員・児童委員		4年

## (2) 委員構成

種 別	全体会・部会名				
	全体会	生活部会	就労部会	相談部会	防災・防犯部会
学識経験者	0	0	0	0	0
医療関係者	1	1	0	0	0
保健所	1	0	0	0	1
教育関係機関	2	1	1	0	0
雇用関係機関	1	0	4	0	0
企業	1	0	2	0	0
障害当事者	1	1	0	0	0
ピアサポーター	0	0	0	0	0
家族・関係団体	1	1	1	0	0
身体・知的障害者相談員	0	2	0	0	1
相談支援事業者	1	0	0	10	0
障害福祉サービス等事業者	6	7	4	0	3
社会福祉協議会	1	0	0	0	1
法曹関係者	0	0	0	0	0
民生委員・児童委員	1	0	0	0	1
地域住民	0	1	0	0	0
行政職員(区市町村)	0	0	0	0	3
行政職員(都)	0	0	0	0	2
その他	0	0	0	0	0
計	17	14	12	10	12

## 3 地域自立支援協議会の活動状況

## (1) 地域自立支援協議会での協議事項(複数回答)

## ① 相談支援事業の運営体制に関すること。

当市や他市の自立支援協議会の理解、他市との相談支援事業所との交流を目的とした交流会や、高齢者に関わるケアマネージャーと相互の体制理解・連携を図る交流会を実施した。また、部会の中で事例検討を行い、日々の支援における悩みの共有、支援の点検等を行い、相談支援の質の向上に努めた(相談部会)。

## ② 就労支援に関すること。

就労選択支援事業についての周知と学習会を重点的に行った。他地域での取り組みなどを参考に、東大和市らしさを生かした就労選択支援事業を導入するべく検討を行った(就労部会)。

## ⑨ 障害者差別解消法や条例、権利擁護に関すること。

合理的配慮の周知を進めるため、地域で合理的配慮の提供に取り組む「インクルーシブ推進事業(いんくる)」として「インクルーシブ事業者マップ」の作成を進めている。今年度は具体的なマップ作成の目的や内容を検討し、事業者登録の依頼へとつなげ、事業者への聞き取りを開始した(生活部会)。

## ⑭ その他(防災・防犯に関すること)

狭山地区に所在する「生活リハビリセンター碧」の協力を得て、災害時を想定した設備や対応の状況について現地視察を行った。施設内プールの水を災害時に活用できる点など、実践的な知見を得ることができ、一方で、長期滞在を想定した備蓄食料の不足などの課題も共有することができた(防災・防犯部会)。

## (2) 地域自立支援協議会としての役割(複数回答)

## ③ 分野を越えてのネットワークの構築

地域自立支援協議会委員が地域生活支援拠点連絡会議の委員となり、他分野の関係団体との連携強化に努めた。

#### ⑤ 地域課題の整理

各専門部会の活動から抽出した地域課題について、地域自立支援協議会の全体会でどのように整理し、改善につなげていくか、地域自立支援協議会の体制の見直しを含め、さまざまな視点で協議した。

#### ⑥ 課題解決に向けての検討

抽出した地域課題の協議方法、専門部会の構成や運営、研修会のあり方などを協議した。

### (3) 地域自立支援協議会として把握している地域課題

ア 地域課題に対して取り組んだ（取り組んでいる）内容又は取り組めなかった理由等  
（複数回答）

#### ② 社会資源の開発及び改善

ごみ出し困難者への支援、金銭管理や見守り等のきめ細やかな支援、福祉人材不足の解消、制度の狭間にある方への支援強化等について、集中的に検討を行っている（相談部会）。

#### ⑩ 就労支援

令和7年10月から開始した就労選択支援事業について、市民がスムーズにサービスを利用できるよう、関係機関等で勉強会を実施し、情報共有を行っている（就労部会）。

#### ③ 権利擁護・虐待防止

障害者と商店の間でwin-winの関係が築けるよう「インクルーシブ事業者マップ」の作成を進め、障害者が気軽に立ち寄れる場所等の情報提供に取り組んでいる（生活部会）。

#### ⑬ 災害等対応

浸水・土砂災害ハザードマップの周知に努めるとともに、マイタイムラインの作成を促進する取組みや現地視察を行っている（防災・防犯部会）。

イ 地域課題の中で、広域又は東京都全域で対応するほうが良いと考える課題

#### ⑬ 災害等対応

災害時の対応等の体制整備

## 4 地域自立支援協議会の活性化

### (1) 法改正に伴う地域自立支援協議会の見直し等（複数回答）

② 個別事例への支援のあり方に関する協議、調整を行うため、専門部会等の設置や改編を行った。

障害児支援に関する課題、障害当事者の参加を進める等の課題に対応できるよう、専門部会の構成や運営のあり方について検討を進めており、今後専門部会の改編等を行う見込みである。

### (2) 地域で生活する当事者の声の反映（複数回答）

⑦ 東京都自立支援協議会の活動（地域自立支援協議会交流会、自立支援協議会担当者連絡会等）を通して情報を収集している。

東京都自立支援協議会の活動（地域自立支援協議会交流会）に参加し、情報収集を行った。

### (3) ICTの活用（複数回答）

- ① 当事者等が集合形式での参加が難しい場合、ハイブリッド形式（集合とリモートの双方に対応した方法）で会議を実施

専門部会において、集合とリモートの双方に対応した会議を実施した。

### (4) 地域自立支援協議会の活動テーマ等

障害者の地域での共生生活を実現するために

## 5 相談支援体制の拡充【新規】

### (1) 相談支援体制を推進するための取組（複数回答）

- ① 基幹相談支援センター等、相談の中核となる窓口について、すぐに利用することができるよう、分かりやすく周知している。

市の窓口において、基幹相談支援センター及び市内の相談支援事業所一覧等を提供し、利用しやすい環境を整えている。

- ② のぞまないセルフプランの解消に向けた具体的な取組を行っている。

相談部会に参加する相談支援事業所が互いに情報共有を行い、協力体制のもと適切にプラン作成等に取り組んでいる。

### (2) 地域移行に向けた相談体制（複数回答）

- ④ 地域移行を希望した対象者に対し、地域移行支援事業者等の相談支援事業所の支援に繋ぐことのできる連携体制ができている。

市は、相談支援事業所及び地域移行支援事業所等と連携し、地域移行に繋げる体制を整えている。